

赤いはりねずみ
第 8 号

— ブラームスの会 —
1978.12.25

目 次

会に思うこと	赤 岩 幸 一	5
積極的な活動参加を！	遠 藤 裕 孝	5

＜特別寄稿＞

ブラームスを演奏してみて	岩 崎 淑	6
--------------	-------	---

演奏をめぐる断想

—ブラームス＝フルトヴェングラーの演奏理念—	本 田 健 倍	9
ブラームスの深さを彈くのが私の夢	岡 田 恵 子	15
『ビアニスティック』って何…？		
—ブラームス音楽におけるビアニズム—	山 田 彰 一	17
談話「ブラームス～深遠なる合唱の世界」	村 谷 達 也	21

「たわごと」	坂 本 政 明	28
虚空に聳える高峰～演奏面からみたブラームス	五十嵐 雅 子	29

座談会「ブラームス音楽の魅力」	間瀬、赤岩、岡田、山田、五十嵐 ～演奏の問題点について	宮崎、伊東、篠岡、富永(司会)	31
-----------------	--------------------------------	-----------------	----

ホロヴィッツの演奏を聴いて	たまるしま のぶゆき	43
ワルシャワ便り	森 谷 真理子	49
「命の音楽」	西 野 和 良	50
夏の思い出	瓜 生 和 世	51

アンケートまとめ(その1)…当会の活動について	52
アンケートまとめ(その2)…特に好きなブラームスの作品・演奏について	54

「誰も書かないブラームス」	森 島 征 治	5 6
ブラームス解釈に関する一考察	葛 野 勝	6 0
 「ブラームス讃歌」 —私の一言—	会 員 諸 氏	6 2
 記憶に残るブラームスの名演	藤 原 道 雄	6 4
交響曲第2番：思い出の名演奏	湯 地 節 子	6 5
分らない音楽	淵 野 昌 昌	6 6
交響曲的	夏 口 信 行	6 7
シャルル・ミュンシュのオルゴール	山 田 明 子	6 8
 アナリーゼ<交響曲第1番の研究>		
I ブラームスの第1交響曲 カール・ガイレンガー／宮崎 容一郎訳		7 0
II 楽曲の分析	篠 岡 恒 悅	7 4
III 演奏と解釈	伊 東 広 孝	8 0
 恋とロマン主義	黒 木 進	8 4
清里音楽祭に参加して	馬 場 淳 年	8 5
変らぬブラームスへの憧憬	野 尻 一 男	8 6
今日この頃の心境	会 田 宣 子	8 7
山と音楽	佐 藤 純 子	8 8
 〔信州合宿便り〕	平 田 佐 美	8 9
 「ブラームスの会」活動報告（77/11月～78/11月）		9 2
 「再会を楽しみに」	足 立 正 紀	9 5
「小夜曲」	富 永 晃 夫	9 5
 編集後記		9 6